

## 第23回クロマティックハーモニカ道場 一美塾 発表会

2022年5月21日(日)

順番	演奏者等	演奏曲	教室
41	<p>そしてここまで元気に来られた理由がもう一つあります。それはハーモニカを辞めなかつたことです。手術後にその頃まだ難しいと思っていた「北の旅人」を練習していく、8回ぐらい連續して吸い続ける箇所があるのですが、3回吸ったらそれ以上は吸うことが出来ず、肺が小さくなつたことを痛感しました。</p> <p>そこで私は無くなってしまったものは仕方がないと気持ちを切り替えて、吸音のなるべく少ない楽譜を選んで練習していました。それから3~4年経ったでしょうか、以前出来なかつた「北の旅人」を吹いてみたら、3回以上吸い続けることが出来なかつた箇所が出来るようになつたのです。次の診察日にレントゲンを撮って確認したところ、なんと左肺上葉の残つていた部分が無くなつた肺の部分を補うように垂れ下がり、手術前のレントゲンと比べたら少し少しお位にまで回復していました。これはハーモニカを辞めずに練習していたことがリハビリになつたのでしょうか。この時ばかりはとても嬉しかつたです。</p> <p>ハーモニカを習い始めたのが縁で沢山の仲間たちと交流でき、時には助けられ励まされ、病状を打ち明けてからは気持ちが随分と楽になり、前向きに過ごせるようになりました。そして他教室の発表会などにも積極的に参加しました。ハーモニカ仲間と会える喜びや新しい曲を皆の前で披露する時のドキドキ感などハーモニカによって沢山の刺激を受けたことが良い薬になつたと思います。病院から貰う薬だけが薬ではないなと思いました。</p> <p>私は先月、最終の治療を受け、副作用で右手の握力がなく、ハーモニカは持てるのですがレバーを押すことが出来ません。</p> <p>今日の発表会は見学の予定でしたが、坂本さん・青木さんのサポートで急遽「筑紫野白百合トリオ」を結成し「故郷」を演奏したいと思います。</p> <p>今日この発表会に参加することができたことでも嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。</p>		
42	龍田教室	野ばら(3重奏)	龍田
43	<p><b>高木 美和</b></p> <p>目標:深い音色を出す。</p> <p>結果:「力まず、深くくわえて、口腔・鼻腔内を広く、喉を開いて」という基本に戻つて練習中。意識せずに出来るようになりたい。</p> <p>特別な何か大きな事を成し遂げた訳でもなく、華やかな経験がある訳でもない私の人生。平凡な人生ですが、日常の機微をハーモニカの音色に乗せることができる!!(まだ出来ないのですが….)と思うとそれだけで希望の様なものを持つことができ、小さな幸せを感じます。</p> <p>そんな目的に向かって練習する時、熱心に導いて下さる先生方、ハーモニカの奥深さを教えて下さる先輩方、音楽の楽しさを共有できる仲間に恵まれたことに、また幸せを感じます。</p>		
44	<p><b>高本 昌範</b></p> <p>目標:曲のイメージを具体的に表現する</p> <p>結果:楽譜に記号や言葉を「自分なりに」記入し、大げさに吹いてみる。「自分なりに」が自分勝手、独り善がりになっている。</p> <p>熊本地震発生から早や6年。阿蘇方面の施設、構造物の復興は道の半ばです。私が龍田教室にお世話になりましたのが、翌年からですで5年が経ちました。少しづつ濁らないで単音が出るようにはなつきました。(4番と5番の誤吹きは未だ深き残響音)表現という言葉を使うまでには、更に相当の年期が必要だと感じます。自分の演奏を録音して聴くと、可なり落ち込みます。これを人前で吹いているのかと思うと嫌になつてきます。でも仲間と定期的に集まって吹く分には楽しい限りです。</p> <p>続けていきたいものです。のらりくらりとですが…。</p> <p>中島先生 清水先生 ごめんなさい。</p>		